

“できない”を楽しもう！不器用FACTORY オープンファクトリーが「BUKIYO」を世界へ！ EXP02025大阪ウィーク「地域の魅力発見ツアー・やりなはれゾーン」に出展

EXP02025大阪ウィーク「地域の魅力発見ツアー・やりなはれゾーン」において、大阪府枚方市の出展エリア（やりなはれゾーン・食べなはれゾーンの業務は北大阪商工会議所が受託）に、ひらかた地域産業クラスター研究会（会長：芦田 知之〔アクテック株式会社 代表取締役社長〕）は、地域企業が連携して立ち上げたオープンファクトリー「不器用FACTORY」を出展します。開催日は、7月29日・30日および9月13日～15日の計5日間。ものづくりの楽しさを誰もが体験できる多彩なプログラムを通じて、国内外の来場者や枚方市民をはじめとする幅広い層への発信を行います。

主なコンテンツ（トータルデザインディレクション：バイカイデザイン株式会社 | チラシ・WEB制作：合同会社PicnicWork）

1. 共創体験型ワークショップ「ヘソバランサー」

（協力：アクテック株式会社、サンエス工業株式会社、株式会社テイク・システムズ、小西建設総務部）

地元企業が製作したオリジナル什器の上で、関西の地図を模したパーツを組み立てるワークショップです。地図が完成していく過程を通じて、周辺地域とのつながりを自然に感じ取ることができます。使用するのは、アップサイクル素材のアクリルパネル。組み立てを終えた方には、「ヘソスピナー」と「関西のヘソカード」を進呈します。

2. オリジナルトレーディングカード「コラボマスターズ」体験テーブル（協力：大阪工業大学）

地元企業・大学・支援機関などの理念や強みを表現したオリジナルカード（全47種）を使って対戦するカードゲームです。異業種連携の可能性をゲーム形式で楽しく体験でき、一部のカードは店舗で提示すると割引などの特典を受けられます。

3. オリジナルトレーディングカード「関西のヘソカード」（コラボマスターズ）

枚方市の魅力を可視化した4枚構成の特別カードセットです。市のプロモーション戦略と連動し、万博での体験を地域へ還元する仕掛けとなっています。このうち1枚は、枚方市内で配布されます。

4. カームダウン・クールダウンスペース設置（MAGENTART [代表：鶴身 裕美子]、株式会社インテリア森田）

感覚過敏の方や小さなお子さま連れの方、高齢者など、どなたでも安心して過ごせる癒しの空間を、独自にブース内へ設置し、一般に開放します。江戸時代の宿場町文化を受け継ぎながら、“癒しと共生”を誰もが体感できる場となっています。



ヘソスピナー（※写真はイメージです）



関西のヘソカード（コラボマスターズ）



ヘソバランサー（※写真はイメージです）



不器用FACTORY



カームダウン・クールダウンスペースイメージ

背景

地域の製造業は高度化が進む一方で、少子高齢化に伴う技能承継の停滞や、若手人材の確保が深刻な課題となっています。ひらかた地域産業クラスター研究会では、「ものづくりへの興味喚起」や「技能承継の基盤強化」に加え、「共創の場づくり」および「イノベーションの創出」をミッションに掲げ、2023年以降、市内の大型ショッピングモール「くずはモール」（大阪府枚方市楠葉花園町）や参加企業の施設内で、体験型ワークショップを展開してきました。今回の出展を通じ、こうした多角的な取り組みを国内外へ発信し、新たな産業集積の形成と次世代人材の育成を、さらに加速させていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】 ひらかた地域産業クラスター研究会（事務局：北大阪商工会議所）
TEL：072-843-5151 <https://bukiyo-factory.osaka/>

ひらかた地域産業クラスター研究会

枚方には関西文化学術研究都市の一翼を担う津田サイエンスヒルズや六企業団地をはじめとして、研究開発や優れた加工・生産技術を持つ企業が数多く存在します。

そうしたものづくり企業を中心に地域の大学・高専・研究機関・産業支援型シニア集団などのネットワークを形成し、イノベーションや新産業が創出されるエキサイティングで魅力的な環境の整備に向けて、平成18年4月「ひらかた地域産業クラスター研究会」が発足しました。

クラスターはぶどうの房のように連鎖して連なったものの集まりや群れを意味し、地域において優位性のある企業や産業を核として、そこから派生する企業や関連のある産業を結合していくことで、新たな活力あふれる産業集積を形成していくことをねらいとしています。

目 的

枚方地域を中心に中小企業や大学、自治体・商工会議所及び産業支援機関、地元金融機関など産学公が一体となって、地域中小企業の持つ基盤技術の高度化や新技術・新産業を創出するイノベーション環境を構築します。

会 員

会 員	研究開発やものづくり企業を中心に構成
会 長	芦田 知之 アクテック株式会社 代表取締役
副 会 長	安田 浩治 株式会社大豊製作所 代表取締役社長 猪奥 元基 株式会社ノボル電機 代表取締役社長 織田 章宏 朝日熱処理工業株式会社 代表取締役社長 竹村 香織 株式会社テイク・システムズ 代表取締役 原田 卓哉 香椎化学工業株式会社 テクニカルセンター 取締役 副社長
顧 問	佐々木 啓益 吉泉産業株式会社 代表取締役会長 佐野 睦夫 大阪工業大学 情報科学部 教授
企 業 群	おもに枚方七企業団地、寝屋川市内企業 ほか
オ ブ ザ ー バ ー	北大阪商工会議所 企業OB 枚方市商工振興課
大 学 ・ 研 究 機 関	大阪工業大学 関西医科大学 摂南大学 大阪電気通信大学

オープンファクトリー部会

「不器用」をキーワードに、大人も子どもも、企業や市民が集い、モノづくりへの関心を育む“第三の居場所”を創出する。できないことを楽しむ体験を通じて、モノづくりの魅力や職業の多様な選択肢を伝え、地域におけるモノづくり人口の裾野を広げることを目指す。商業施設や地域のクリエイターと連携し、地域全体で一体となって取り組むプロジェクトである。



枚方産学公連携フォーラム

本フォーラムは、枚方地域における産学官の連携を強化し、各分野の知見を融合させることで地域の技術革新や経済活性化、次世代人材の育成などを推進することを目的としている。各界の専門家が意見交換を行い、共に未来の地域づくりに貢献する場を提供する。

リアルとバーチャルの両面で協創の場づくりを進めよう！
枚方産学公連携フォーラム2022
それ、どうやってんの？～産学公連携の原点に立ち返って～

日時 2022年12月3日(土) **オンライン (Zoom) 同時開催！**
13:30 (開会)～17:30 (13:00開場・パネル展示) **定員150名 (先着順)**

会場 枚方市立地域活性化支援センター
7階 たまゆらイベントホール (隣きプラザきらら内) **参加無料**

基調講演 価値協創はリアルの場づくりから!?
価値協創の時代における“サードプレイス”の重要性
～手段としての地域一体型オープンファクトリー～

津田 哲史 氏 (近畿経済産業局 イノベーション推進室総務係長)
2008年経済産業省選定経済産業局入局、中川市長室参事、企業立地・設備投資促進課を歴任した近畿支庁に在りし参事、大阪府八尾市に在りし経済産業局参事として「おもしろい」立ち上げ参事として、東工研で参事、2025年大阪・関西万博を契機として、新たな価値の創出を担う手段として、関西各地に広がる地域一体型オープンファクトリーに注目し、本講演で価値協創におけるサードプレイスの重要性と、万博に向けた地域一体型オープンファクトリーの価値を提議する。

草場 寛子 氏 (株式会社盛光 SCM 代表取締役 / コーベ行こう！実行委員長)
事業所も資金も！協創の場づくりの知見、大阪府東大阪市、府内で60年以上にわたり、血汗を流し主に印刷器具やダイカスト部品を手付けで生産する5人組の二代目社長として「下町が輝く」を掲げ、P2Pプラットフォームの立ち上げ、海外展開を推進。さらに、最大のオープンファクトリー「コーベ行こう！」の実行委員長として、町全体の活性化に繋がる活動にも積極的に取り組んでいる。本講演ではオープンファクトリーの事例を語ると、決りにもできる取り組みを提案する。

枚方産学公連携フォーラム2023

産学公連携の新たなフロンティア
～万博とオープンファクトリー～

共創の舞台！
2025大阪・関西万博と
産学公連携の未来

枚方産学公連携フォーラム2024

共創の可能性を探る！
産学公連携の新たなステージへ

未来を共に創る場、
ここから始まる産学公連携